

工 事 番 号							
設計年度	令和6年度		市道木原23号線道路改良工事 その2				
施工月日	令和	年 月 日					
施工方法	請 負						
工事期間							
工 事 概 要			起 工 理 由				
施工内容 橋脚補強工 一式 鋼板巻き立て工 A=39m2 仮設工 一式							

仕 様 書

# 特記仕様書

## 第1章 総則

### 第1節 適用

- 1 本特記仕様書は、三原市木原三丁目・四丁目 市道木原23号線道路改良工事 その2 に適用する。
  - 2 本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。
    - ・**土木工事共通仕様書（令和5年8月）広島版**
- ※ 土木工事共通仕様書は「広島県の調達情報」に掲載している。  
<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/>  
・その他関連規格類

### 第2節 中間検査

本工事は、中間検査の対象工事とする。

### 第3節 情報共有システム

- 1 本工事は、受発注者間の情報を電子的に交換・共有することにより、業務の効率化を図る情報共有システムの対象である。なお、運用にあたっては「広島県工事中情報共有システム運用ガイドライン」（以下「ガイドライン」という。）に基づき実施すること。
- 2 本工事で使用する情報共有システムは次とする。  
広島県工事中情報共有システム  
<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/asp/index.html>
- 3 監督員及び受注者が使用する情報共有サービスのサービス提供者（以下「サービス提供者」という。）との契約は、受注者が行い、利用料を支払うものとする。
- 4 なお、工事完成時については、提出する必要がある工事成果品を電子納品すること。また、試行期間中は工事検査を紙媒体で受検することから、受注者は、工事成果品1部を紙媒体により提出すること。
- 5 受注者は、監督員及びサービス提供者から技術上の問題点の把握、利用にあたっての評価を行うためアンケート等を求められた場合、協力しなければならない。

### 第4節 法令及び条例等の遵守

- 1 次の内容について、施工計画書の「その他」項目に記載すること。
  - (1) 工事の実施にあたり、発注者から明示された、又は、受注者が行うべき「法令及び条例等に基づく各種手続き及び許可承諾条件」
  - (2) 上記(1)の内容について「不測の事態等が生じた場合の対応方法」
  - (3) 上記(1)、(2)の内容について「現場作業に従事する者に対する周知の方法」
- 2 「施工方法」等の関連する項目に、許可承諾条件等を適切に反映すること。
- 3 「法令及び条例等に基づく各種手続き及び許可承諾条件」等の変更が生じた場合は、施工計画書の内容に重要な変更が生じたものとし、変更施工計画書を提出すること。

### 第5節 週休2日工事等

本工事は、「発注者指定型」による週休2日工事等の対象工事であり、実施にあたっては「三原市週休2日工事等実施要領」に基づき実施するものとする。

### 第6節 熱中症対策に資する現場管理費の補正

- 1 本工事は、熱中症対策に資する現場管理費の補正を工事とする。
- 2 受注者は、補正を希望する場合、監督員と協議すること。
- 3 工事の実施にあたっては「熱中症対策に資する現場管理費の補正の運用について」に基づき、行うこと。

## 第2章 施工条件

### 第1節 工程

- 1 施工時期・時間の制限  
施工内容 工事全般  
時期 工場製作資材運搬時  
時間 調整による  
施工方法・理由 工事箇所が生活道路であるため、調整を十分に行い、理解を得たうえで施工を行うこと。
- 2 事前測量の実施  
施工内容 事前測量の実施  
時期 工事着手前  
時間 8時～17時  
施工方法・理由 施工ヤードに民地が含まれるため、工事着手前に境界の復元測量を行い、地権者の理解を得たうえで施工を行うこと。

### 第2節 用地

- 1 現場の復旧  
原形復旧とする。

### 第3節 公害対策

- 1 事前・事後調査  
調査区分 事前・事後及び工事施工中も大きな被害がある旨の申し出を受けた場合、監督員と協議の上調査すること。  
調査区分 (設計変更の対象とする。)  
調査時期 施工前・施工中・施工後(1ヶ月以内)  
調査内容 柱、屋根、壁、基礎、建具等の傾斜、損傷状況  
調査範囲 監督員と協議するものとする
- 2 粉じん防止  
管理内容 粉じん防止の散水  
調査範囲 工事作業範囲

### 第4節 安全対策

- 1 交通誘導員・警戒船・保安要員  
作業期間中の交通誘導員は、資材搬出入時において1(人/日)を見込んでいる。

### 第5節 仮設備

- 1 仮設構造物の引継ぎ  
内容 現地に設置している仮設材については、リース契約の引継ぎを行うこと。  
物件 H形鋼、鋼製山留材、敷鉄板、シャコ万力、仮囲い(契約図書参照)  
契約の相手方 株式会社リョーキ三原営業所  
期間 令和6年9月1日～令和7年3月31日迄

## 第6節 建設副産物

本工事における建設副産物については、土木工事共通仕様書1-1-2-11 建設副産物のとおり取り扱うこととする。なお、「再生資源利用計画」、「再生資源利用促進計画」及び「実施書の提出」については、次のとおりとする。

- 1 再生資源利用計画及び再生資源促進計画  
受注者は、コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト混合物等を工事現場に搬入する場合には、法令に基づき、再生資源利用計画を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。また、受注者は、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥又は建設混合廃棄物等を工事現場から搬出する場合には、法令に基づき、再生資源利用促進計画を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。なお、その内容に変更が生じたときは、速やかに利用計画及び促進計画を変更し、監督職員に報告しなければならない。
- 2 計画の掲示及び公表  
受注者は、1の再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。  
現場掲示様式については、次のURLを参考に作成すること。  
[https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/recycle/d03project/d0306/page\\_03060101credas1top.htm](https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/recycle/d03project/d0306/page_03060101credas1top.htm)
- 3 実施書の提出  
受注者は、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を作成した場合には、工事完了後速やかに実施状況を記録した再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書を監督職員に提出しなければならない。なお、受注者は、再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書の作成後、工事完成から5年間保存しなければならない。
- 4 工事現場の管理体制  
受注者は、再生利用の促進を行うため、工事現場における建設副産物責任者を置くことにより、管理体制を整備するとともに、当該責任者に対し、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画の内容について現場担当者の教育を十分行うこと及び、関係する他の施工者及び資材納入業者もこれを周知徹底することを指導するものとする。
- 5 建設発生土搬出に関する関係法令の手続きの確認及び確認結果票の作成  
受注者は、再生資源利用促進計画の作成にあたり、建設発生土を工事現場から搬出する場合は、あらかじめ次に掲げる事項を確認し、また各事項の確認の結果を記載した書面（確認結果票）を作成しなければならない。  
※確認結果票は「広島県の調達情報」に掲載している。
  - (1) 工事現場内の土地の掘削その他の土地の形質の変更が土壤汚染対策法（平成14年法律第53号）第3条第7項又は第4条第1項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。
  - (2) 再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先における建設発生土の搬入に係る行為に関する次に掲げる事項  
ア 当該行為が宅地造成及び特定盛土等規制法（昭和36年法律第191号。以下「盛土規制法」という）第12条第1項、第16条第1項、第30条第1項又は第35条第1項の規定による許可を要する場合にあっては、当該許可を受けている。  
イ 当該行為が盛土規制法第21条第1項、第27条第1項、第28条第1項又は第40条第1項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。
  - (3) 上記(1)、(2)に掲げる事項のほか、再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先が適正であることを確認するために必要な事項その他の建設発生土の搬出に関する事項
- 6 運搬業者への通知  
受注者は、建設発生土の運搬を行う者に対し、再生資源利用促進計画及び確認結果票の内容を通知するものとする。またその内容に変更が生じたときには、速やかに運搬を行う者に通知するものとする。
- 7 確認結果票の掲示及び公表  
受注者は、確認結果票を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。
- 8 確認結果票の保管  
受注者は、確認結果票を建設工事の完成後5年間保存するものとする。

- 9 建設発生土の搬出先に対する受領書の交付請求  
受注者は、建設発生土を再生資源利用促進計画に記載した搬出先へ搬出したときは、速やかに当該搬出先の管理者（搬出先が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、次に掲げる事項を記載した受領書の交付を求めるものとする。
- (1) 建設発生土の搬出先の名称（搬出先が工事現場である場合は、建設工事の名称。）及び所在地
  - (2) 建設発生土を搬出先の受注者の商号、名称又は氏名
  - (3) 建設発生土の搬出元の名称及び所在地
  - (4) 建設発生土の搬出量
  - (5) 建設発生土の搬出が完了した日
- 10 建設発生土の搬入元への受領書の交付  
受注者は、建設発生土を利用計画に記載した搬入元から搬入したときは、速やかに当該搬入元の管理者（搬入元が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、前号に掲げる事項を記載した受領書を交付するものとする。
- 11 受領書の内容確認  
受注者は、搬出先から受領書の交付を受けたときは、再生資源利用促進計画に記載した内容と一致することを確認する。
- 12 受領書の保管  
受注者は、受領書又はその写しを建設工事の完成後5年間保存するものとする。

#### 第7節 工事用道路

- 1 一般道路
- |          |   |
|----------|---|
| 使用期間     | 工事施工期間  |
| 使用時間     | 8時～17時  |
| 工事中・後の処理 | 随時清掃を行うこと。また、工事完了後は舗装欠損部の補修を行うこと。（工事前、後の写真により監督員と協議すること。） |

#### 第8節 その他

- 1 工事用機資材等の仮置き  
場所 受注者が責任を持って管理すること。なお、借地料等については受注者の負担とする。
- 2 法定外の労災保険の付保
- 1 本工事において、受注者は法定外の労災保険に付きなければならない。
  - 2 受注者は、建設工事請負契約約款第54条（火災保険等）に基づき、法定外の労災保険の契約締結したときは、その証券又なこれに代わるものを速やかに監督職員に提示しなければならない。
  - 3 法定外の労災保険は、政府の労働災害補償保険とは別に上乗せ給付等を行うことを目的とするものであり、（公財）建設業福祉共済団、（一社）建設業労災互助会、全日本火災共済協同組合連合会、（一社）全国労働保険事務組合連合会又は保険会社との間で、労働者災害補償保険法に基づいて契約を締結しているものとする。

### 第3章 設計金額

#### 第1節 排出ガス対策型建設機械の使用促進

土木工事共通仕様書（令和5年8月 広島版）『1-1-1-32 環境対策』で使用を義務付けている排出ガス対策型建設機械においては、排出ガス対策型（第2次基準値）以上の建設機械の使用に努めること。

なお、使用する排出ガス対策型建設機械について、基準値による設計変更は行わない。

## 第2節 建設副産物

### 1 建設発生土（搬出）（建設発生土リサイクルプラント，建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積））

当該工事により発生する建設発生土は，公の関与する埋立地，建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント，建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）のいずれかに搬出するものとする。

また，搬出先として，運搬費と受入費（平日の受入費用）の合計が最も経済的になる建設発生土リサイクルプラント，建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）を見込んでいる。したがって，正当な理由がある場合を除き残土処分に要する費用（単価）は変更しない。

搬出場所 山田建設株式会社リサイクルプラント（三原市糸崎南2糸崎第3野積場）

なお，工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により，建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント，建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）への搬出が困難となった場合は，発注者と受注者が協議するものとする。

### 2 産業廃棄物の場外保管

当該工事により発生する産業廃棄物を事業場の外（建設工事現場以外の場所）において300m<sup>2</sup>以上の面積で保管する場合には，保管場所を所管する都道府県知事又は政令市長に事前の届出を行うこと。また，届出事項を変更する場合は事前に変更届を，保管をやめたときは30日以内に廃止届を提出すること。

ただし，産業廃棄物処理業等の許可施設における保管は届出対象外とする。

## 第4章 その他

本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または，その内容に疑義が生じた場合は，監督員の指示を受けること。

# 工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
本工事費				
橋梁下部		式	1	レベル1
工場製作工		式	1	レベル2
桁製作工		式	1	レベル3
製作加工	労務費	t	2.6	レベル4
製作加工	鋼板（材料費）	t	2.6	レベル4
アンカーボルト（材料費）		本	20	レベル4
工場塗装工		式	1	レベル3
前処理	原板ブラスト、ジंकリッチプライマー	m2	72	レベル4
前処理	2次素地調整	m2	33	レベル4
防食下地		m2	33	レベル4
下塗	エポキシ樹脂塗料	m2	33	レベル4
中塗	フッ素樹脂	m2	33	レベル4
上塗	フッ素樹脂	m2	33	レベル4
工場製品輸送工		式	1	レベル2
輸送工		式	1	レベル3
輸送		t	2	レベル4
道路土工		式	1	レベル2

# 工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
作業土工		式	1	レベル3
残土処理工		式	1	レベル3
橋脚補強工		式	1	レベル2
橋脚下部補強工		式	1	レベル3
現場溶接	t=6mm	m	15	レベル4
アンカー削孔・定着工	削孔深0.8m以上1.0m未満	式	1	レベル4
アンカー注入材（材料費）	エポキシ樹脂系アンカー材	式	1	レベル4
根巻きコンクリート	24-12-25BB	m3	4	レベル4
鋼板巻立て工		式	1	レベル3
鋼板巻立て	G支柱 無収縮モルタル	m2	39	レベル4
シール材（材料費）	エポキシ樹脂系シール材	式	1	レベル4
注入材（材料費）		kg	2,976	レベル4
現場溶接		m	32	レベル4
現場塗装工		式	1	レベル3
素地調整	動力工具	m2	6	レベル4
防食下地	有機ジンクリッチペイント	m2	6	レベル4
下塗	エポキシ樹脂塗料	m2	6	レベル4
中塗	フッ素樹脂	m2	6	レベル4

# 工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
上塗	フッ素樹脂	m2	6	レベル4
仮設工		式	1	レベル2
仮設材設置工		式	1	レベル3
交通管理工		式	1	レベル3
交通誘導警備員		人	10	レベル4
** 直接工事費 (鋼橋製作工) **				
間接労務費 (鋼橋製作工)				
工場管理費 (鋼橋製作工)				
** 間接工事費 (鋼橋製作工) **				
** 工場製作原価 (鋼橋製作工) **				
** 直接工事費 (工場製作を除く) **				
共通仮設費率分				
** 共通仮設費計 **				
** 純工事費 **				
現場管理費				
** 架設工事原価 **				
** 工事原価 **				
一般管理費率分				

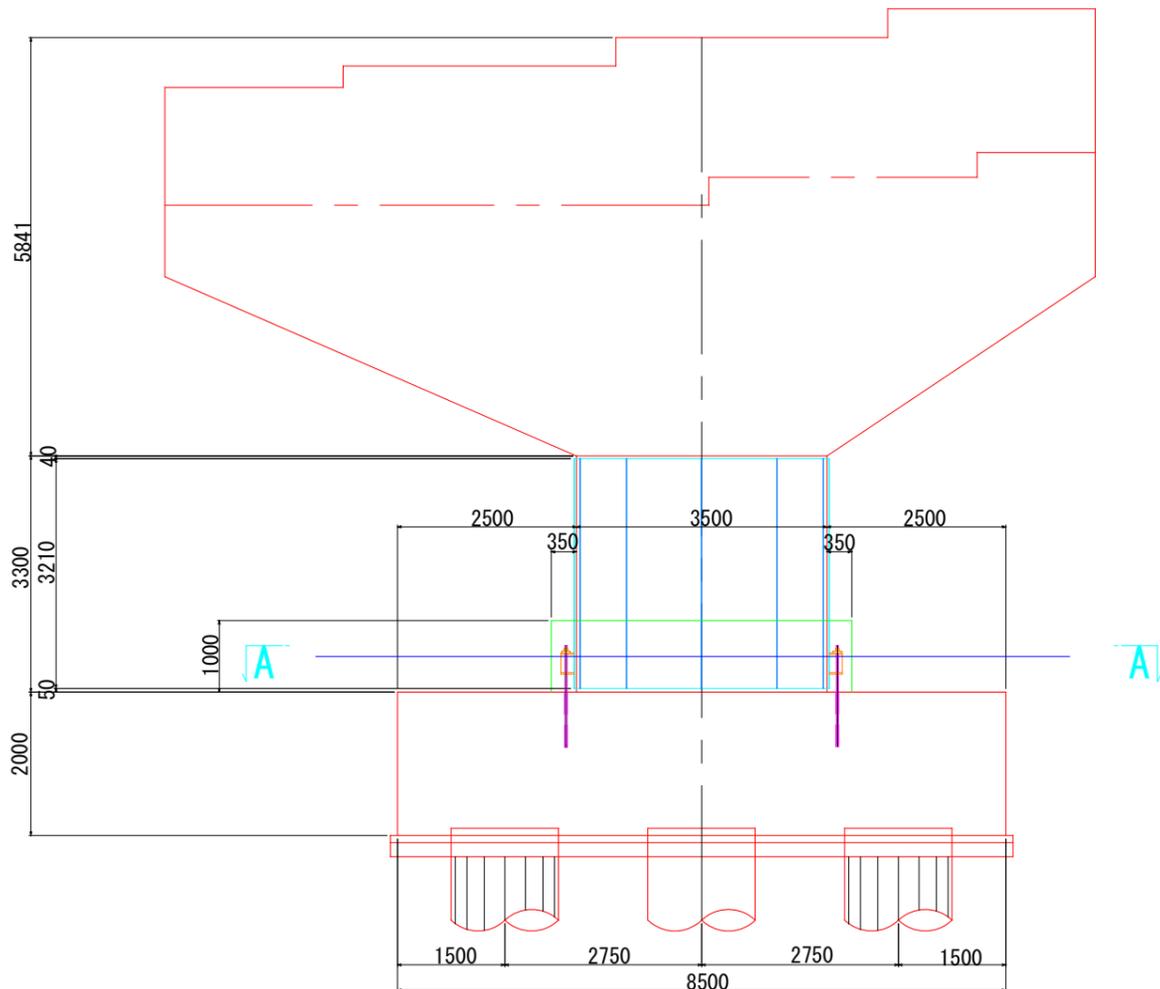
# 工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
契約保証費					
一般管理費計					
**工事価格**					
**消費税相当額**					
**工事費計**					
**契約保証費計**					

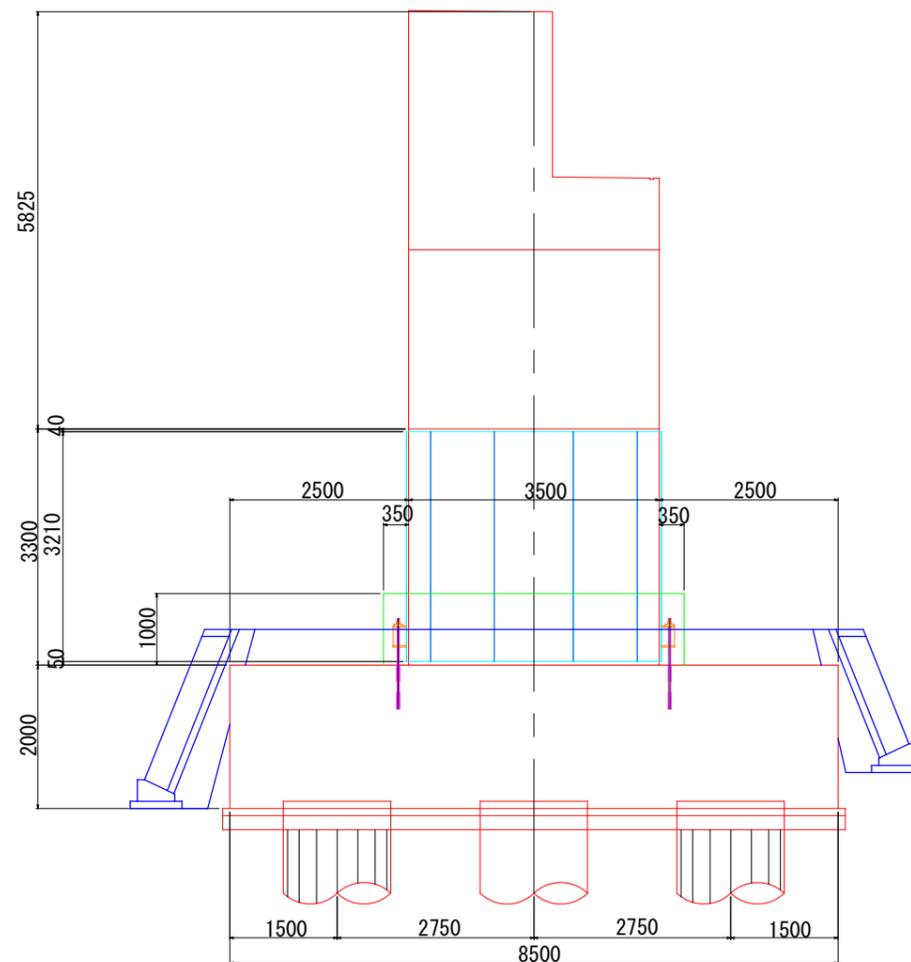
図面番号	1 / 4	縮尺	1:50
工種			
種別	P2橋脚鋼板巻立て一般図	番号	
路線名	市道木原町23号線		
工事名称			
工事箇所	三原市木原町地内		
<b>三原市</b>			

# P2橋脚鋼板巻立て一般図

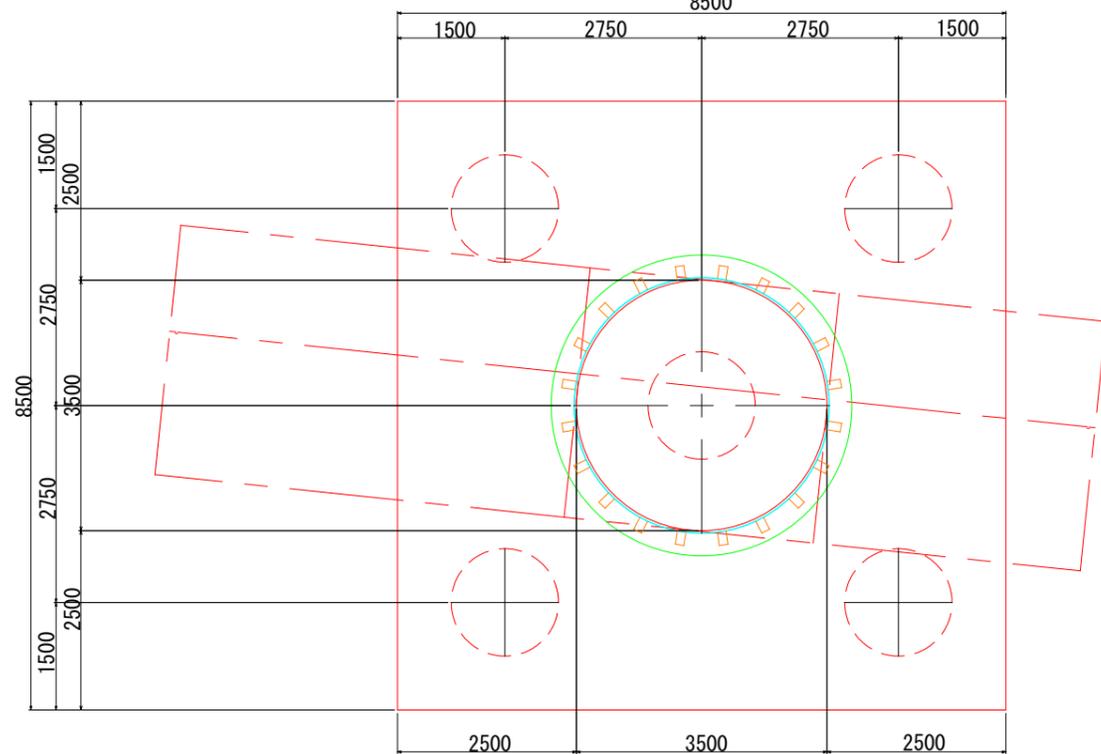
正面図 S=1:50



側面図 S=1:50

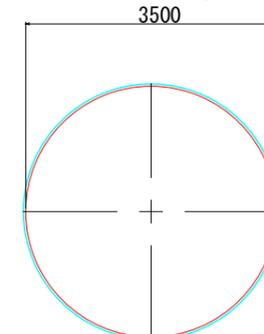


平面図 A-A S=1:50



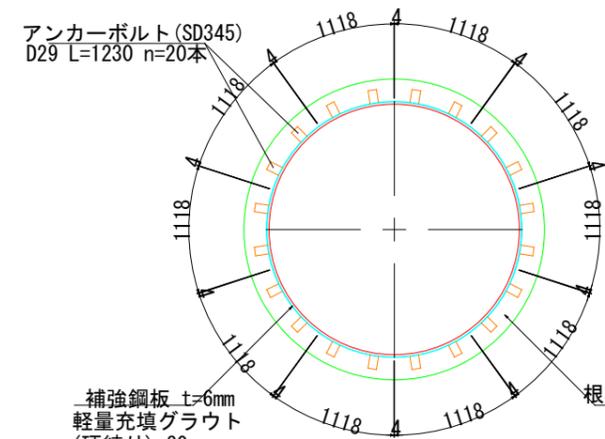
柱断面図 S=1:50

中間部



補強鋼板 t=6mm  
軽量充填グラウト  
(硬練り) 30mm

橋脚柱基部



補強鋼板 t=6mm  
軽量充填グラウト  
(硬練り) 30mm

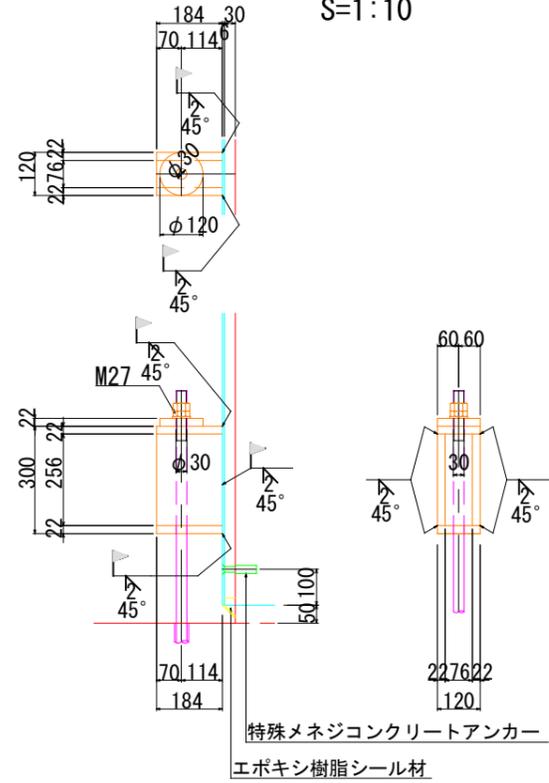
根巻コンクリート

図面番号	2 / 4	縮尺	1:20
工種	P2橋脚鋼板巻立て詳細図(その1)		
種別	番号		
路線名	市道木原町23号線		
工事名称	三原市木原町地内		
工事箇所	三原市		

# P2橋脚鋼板巻立て詳細図(その1)

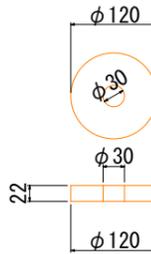
## ブラケット詳細図

S=1:10



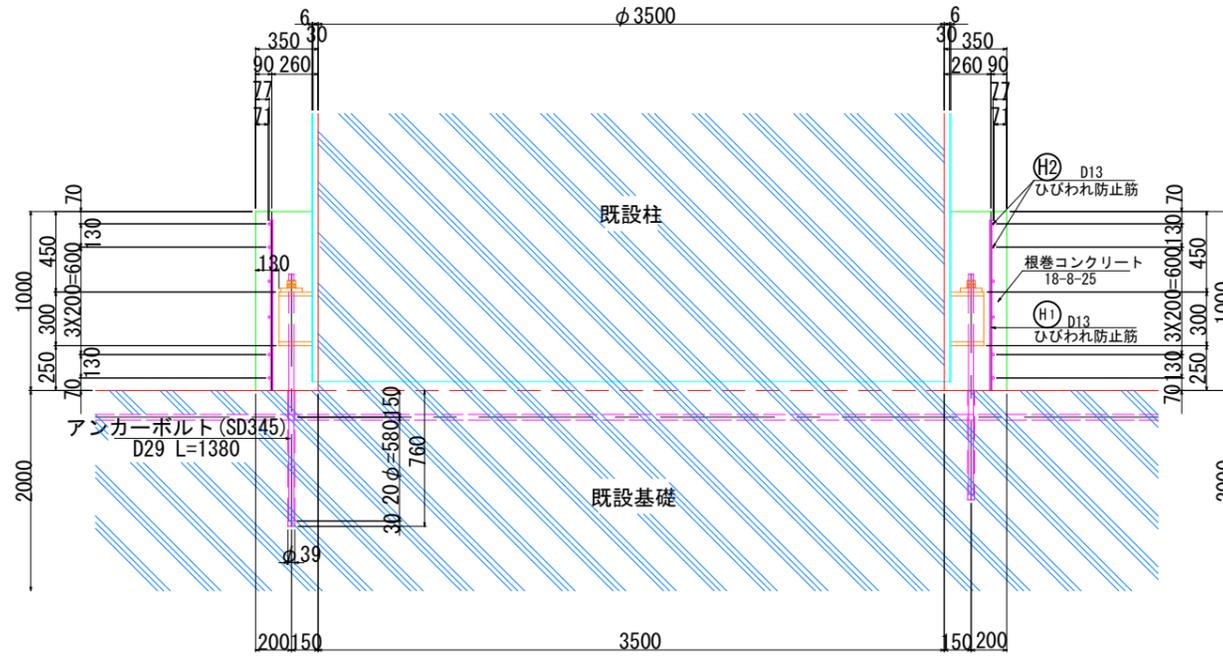
## 支圧プレート

S=1:5

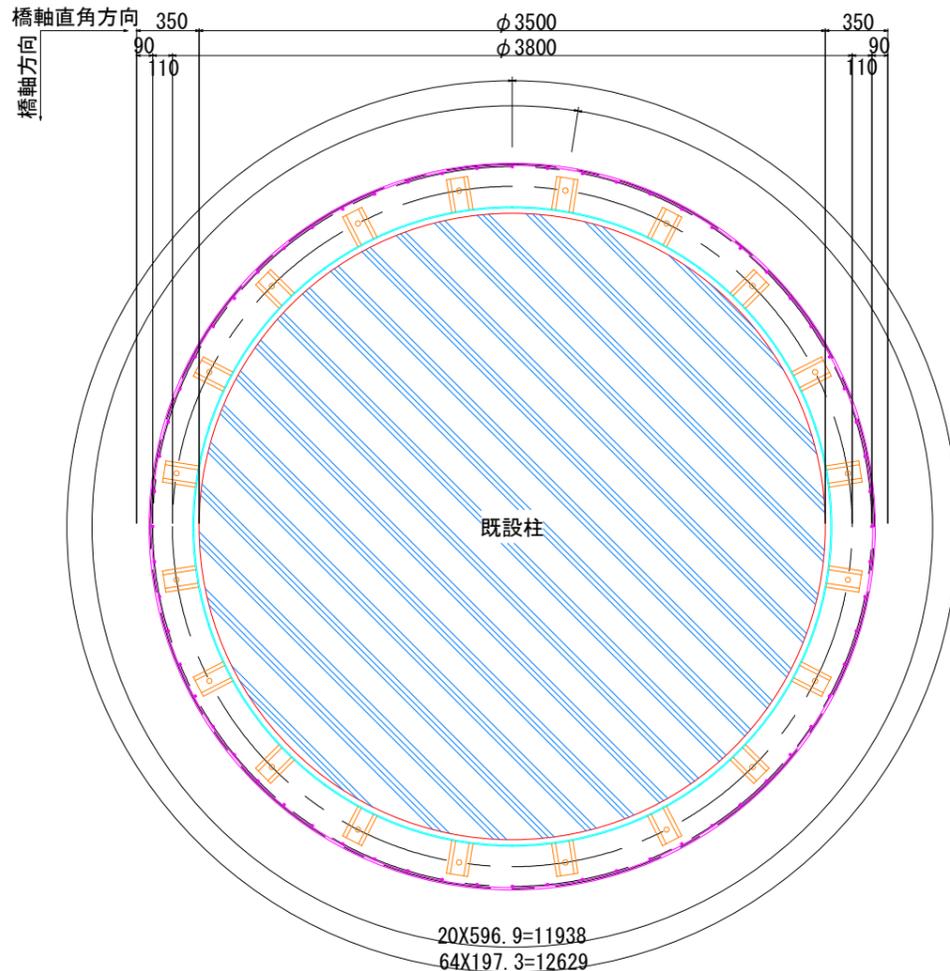


- アンカー1箇所当り (1支柱当り合計20箇所)
- 2-PL 120×22×184 (SM400B)
  - 2-PL 184×22×256 (SM400B)
  - 1-PL 120×22×120 (SS400)
  - 1-ANCHOR D29×1380 (SD345)
  - 1-NUT M27 (1種, 3種)
  - 1-WASHER M27

## 断面図 S=1:20

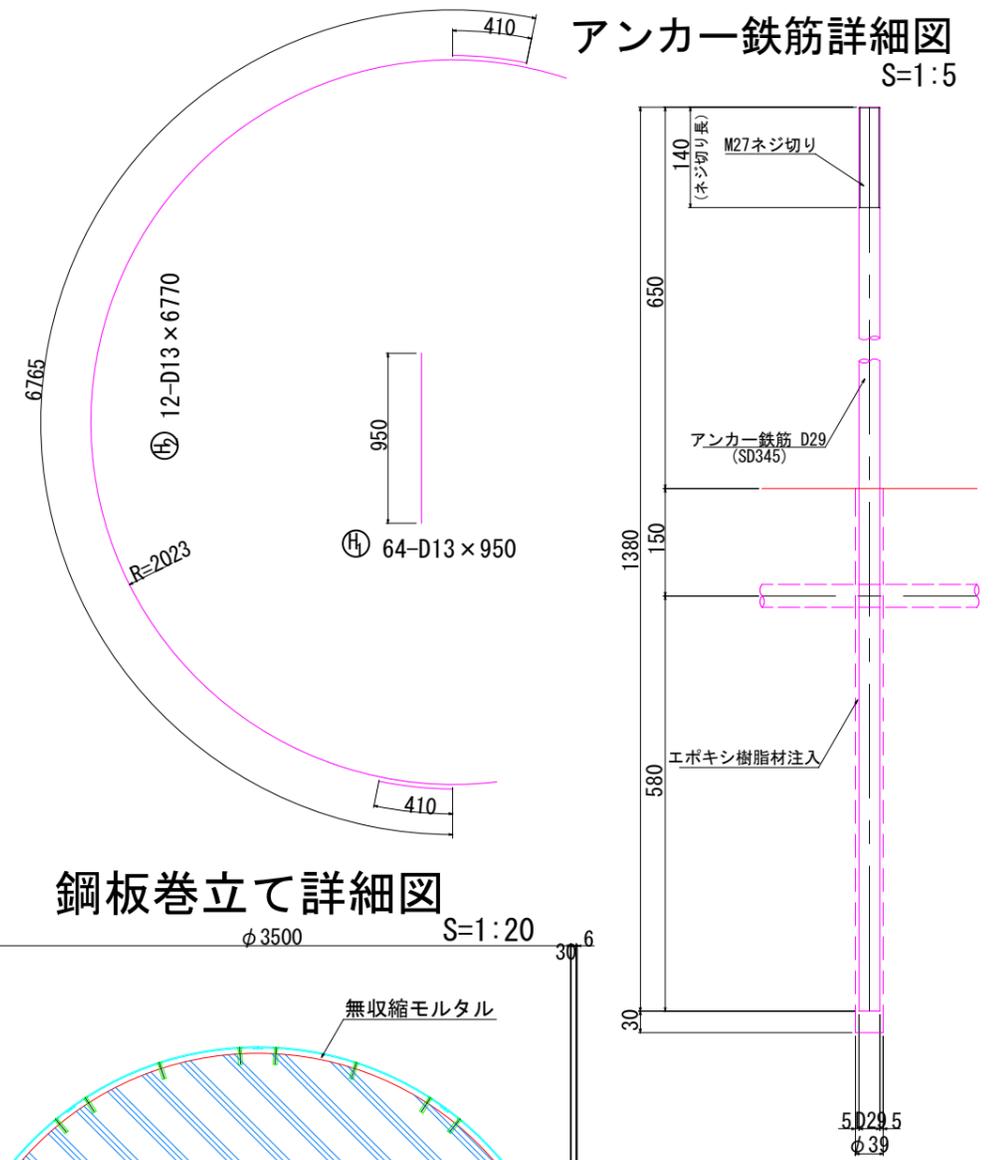


## 平面図 S=1:20



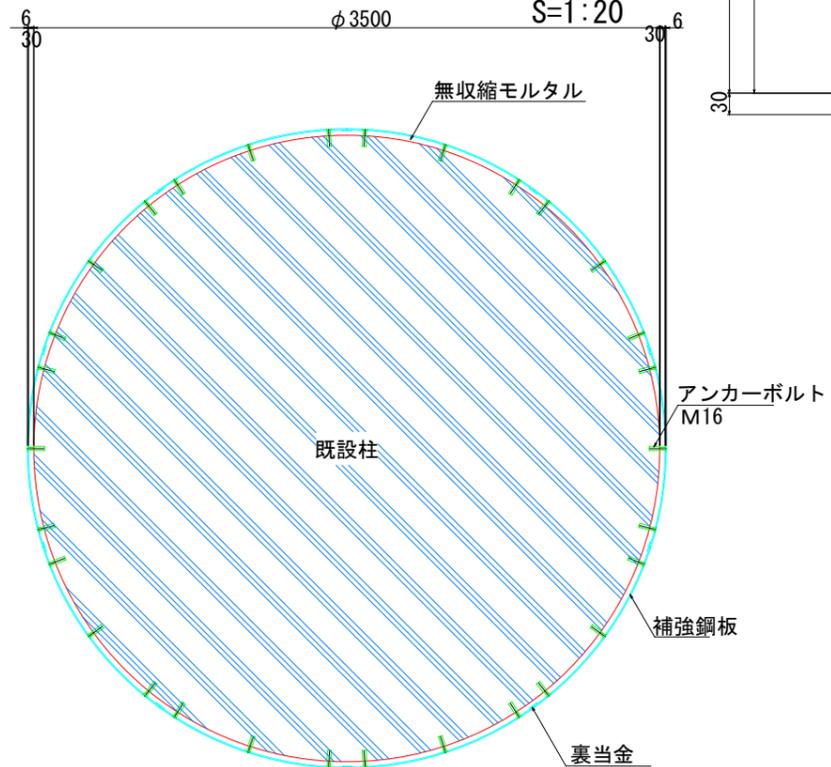
## アンカー鉄筋詳細図

S=1:5



## 鋼板巻立て詳細図

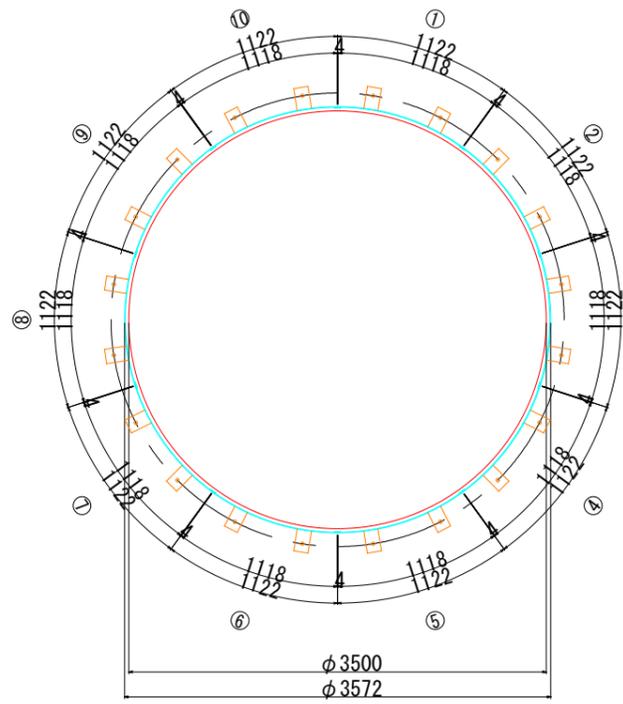
S=1:20



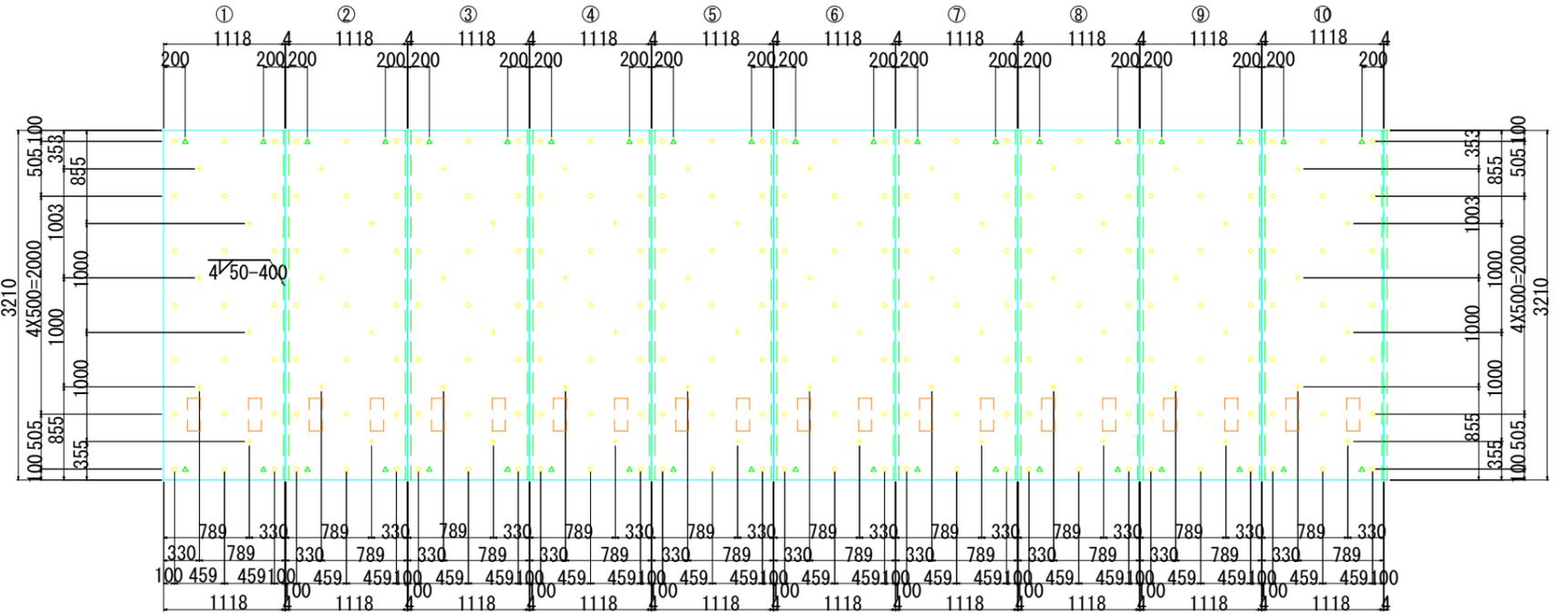
図面番号	3 / 4	縮尺	1:30
工種	P2橋脚鋼板巻立て詳細図(その2)		
種別	詳細図(その2)	番号	
路線名	市道木原町23号線		
工事名称	三原市木原町地内		
工事箇所	三原市		

# P2橋脚鋼板巻立て詳細図(その2)

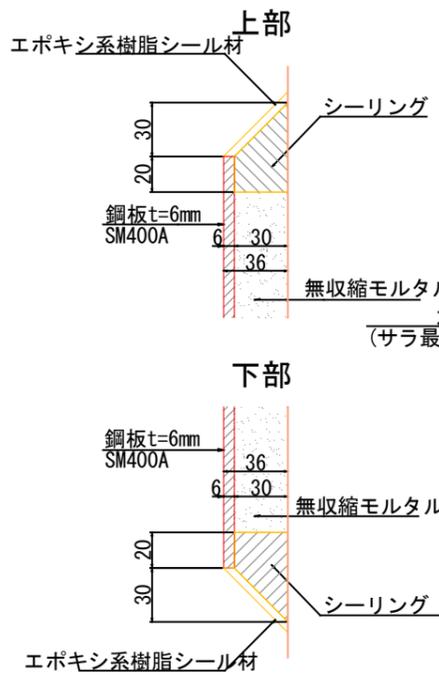
平面図 S=1:30



鋼板加工図 S=1:30

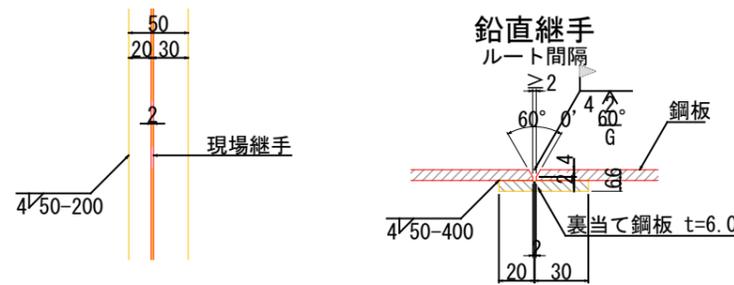


鋼板端部処理図 S=1:2

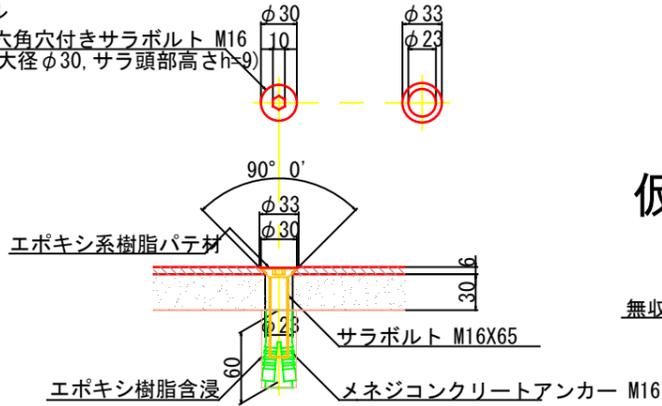


支柱1本当りの鋼材  
 10-PL 1118×6×3210(曲げ加工SM400A)  
 10-FB 50×6×3210(SM400A)  
 210-Anc Bolt M16×65(皿ボルトSS400)  
 40-Anc Bolt φ19×110(仮止めボルトSD295)

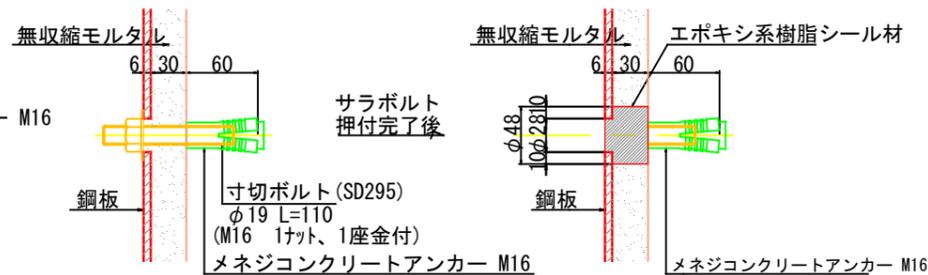
裏当て鋼板部詳細図 S=1:3 溶接部詳細図 S=1:2



サラボルト取付詳細図 S=1:3



仮止めアンカーボルト取付詳細図 S=1:3



特記事項  
 1. 鋼板の塗装仕様は鋼道路橋塗装・防食便覧資料集 第Ⅱ編 塗装編を採用する。  
 一般外面の塗装仕様 C-5塗装系

塗装工程	塗料名	使用量 (g/m <sup>2</sup> )	目標膜厚 (μm)	塗装間隔
素地調整	プラスト処理 ISO Sa2	1/2		4時間以内
プライマー	無機ジンクリッチプライマー	(160)	(15)	6ヶ月以内
2次素地調整	プラスト処理 ISO Sa2	1/2		4時間以内
防食下地	無機ジンクリッチペイント	600	75	2日~10日
ミストコート	エポキシ樹脂塗料下塗	160		
下塗	エポキシ樹脂塗料下塗	540	120	1日~10日
中塗	ふっ素樹脂塗料用中塗	170	30	1日~10日
上塗	ふっ素樹脂塗料上塗	140	25	1日~10日

注1: 使用量はスプレーの場合を示す。  
 注2: プライマーの膜厚は総膜厚に加えない。  
 注3: 製鋼工場におけるプライマーは膜厚にて管理する。

現場溶接部の塗装仕様 F-13 (一般部塗装系 C-5)

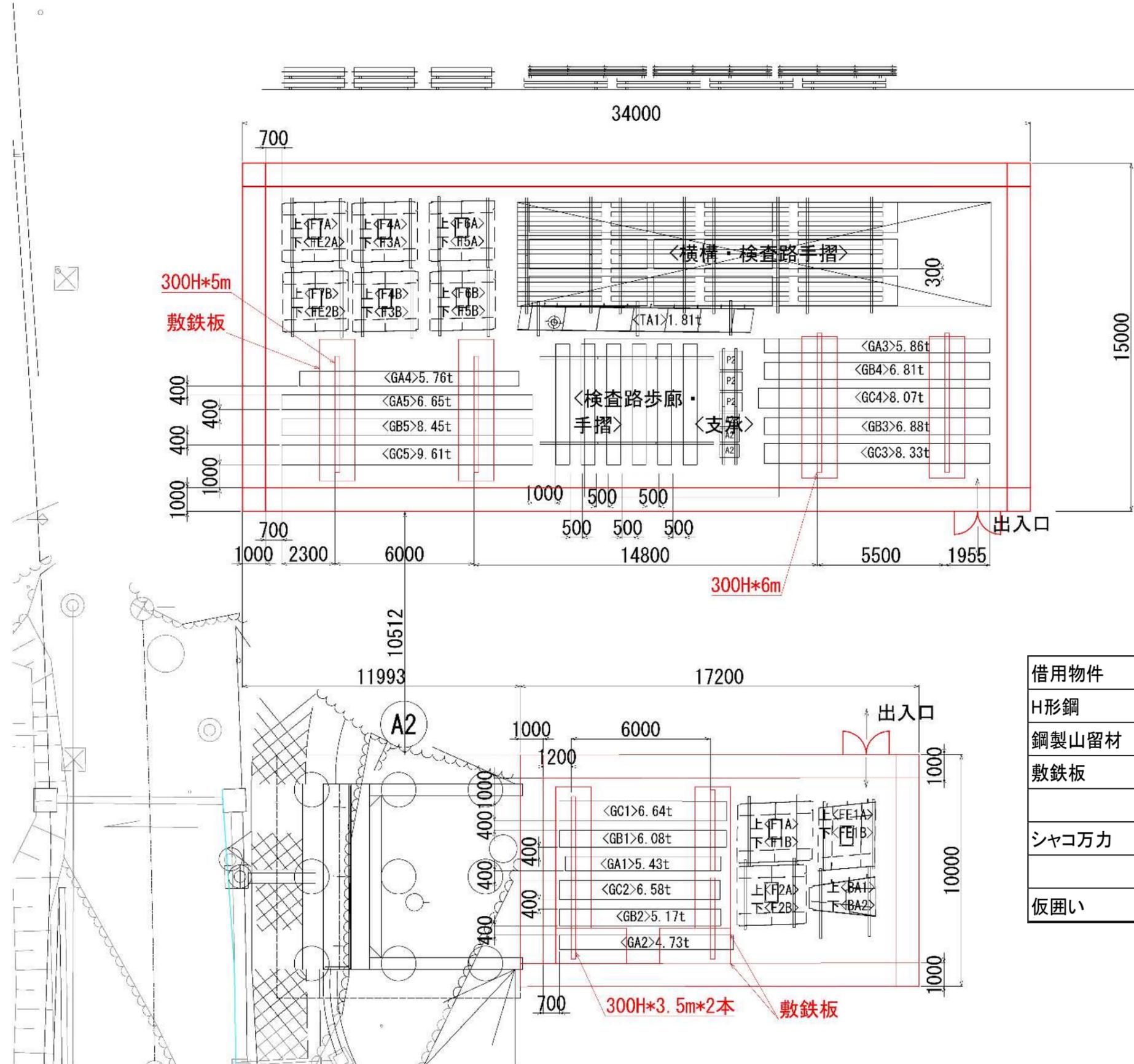
塗装工程	塗料名	塗装方法	使用量 (g/m <sup>2</sup> )	目標膜厚 (μm)	塗装間隔
素地調整	プラスト処理 ISO Sa2	1/2			4時間以内
防食下地	有機ジンクリッチペイント	スプレー (はけ・ローラー)	600 (300×2)	75	1日~10日
下塗り	変性エポキシ樹脂塗料下塗	スプレー (はけ・ローラー)	240 (200)	60	1日~10日
下塗り	変性エポキシ樹脂塗料下塗	スプレー (はけ・ローラー)	240 (200)	60	1日~10日
中塗り	ふっ素樹脂塗料用中塗	スプレー (はけ・ローラー)	170 (140)	30	1日~10日
上塗り	ふっ素樹脂塗料用上塗	スプレー (はけ・ローラー)	140 (120)	25	1日~10日

注1: 塗料使用量: スプレーとし、( )内は、はけ・ローラー塗りの場合を示す。

凡例

- 鋼板固定用皿ボルト用孔 (皿状45° 外φ33 内φ23)
- + 注入孔兼空気抜孔
- △ 鋼板仮止めアンカーボルト用孔 (φ23)

# A2橋台側 部材仮置き図



借用物件			
H形鋼	H300*300*10/15	2.5	t
鋼製山留材	THA30	1.5	t
敷鉄板	5×10 25mm	2	枚
	5×20 25mm	6	枚
シャコ万力	CC-150	50	個
	CC-100	24	個
仮囲い	H=3.0m	1	式

# 参 考 資 料

－市道木原23号線道路改良工事 その2－

# 総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日  諸経費体系	0 59 三原市 00-06.07.01(0)  1 公共(一般)	凡例 Co ……コンクリート      As ……アスファルト DT ……ダンプトラック      BH ……バックホウ CC ……クローラクレーン      TC ……トラッククレーン RTC…ラフテレーンクレーン
	当世代	前世代
工種 施工地域・工事場所区分 復興補正区分 週休補正区分 現場事務所等の貸与区分 ICT補正区分 冬期補正係数 緊急工事区分 前払金支出割合区分 契約保証区分	08 鋼橋架設工事 00 補正なし 00 補正なし 03 4週8休以上 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 通常工事 0% 00 補正無し 01 金銭的保証(0.04%)	
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。		

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
橋梁下部					Y1E05 レベル1
工場製作工	1	式			Y1E0301 レベル2
桁製作工	1	式			Y1E030101 レベル3
製作加工 労務費	1	式			Y1A04010101 レベル4
製作直接労務費【鋼橋製作工】(直接入力)	2.6	t			SHD30023 00
製作加工 鋼板(材料費)	1	式			単第0 -0001 表 Y1E03010101 レベル4
【工場製作に含まれる材料費等】 (但し,工場塗装に係る材料費は除く) 工場管理費[対象外],一般管理費等[対象]	2.6	t			#0045
鋼材費(鋼板) 一般構造用 SS400 ガーダー形式	0.05	t			SHD30001 00 単第0 -0002 表

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
鋼材費(鋼板) 溶接構造用 SM400B ガーダー形式 厚み_12 t 25mm	0.5	t			SHD30001 00  単第0 -0003 表
鋼材費(鋼板) 溶接構造用 SM400A ガーダー形式 厚み_6 t<12mm	2	t			SHD30001 00  単第0 -0004 表
アンカーボルト(材料費)	20	本			Y1A01120204 レベル4
定着アンカーボルト(ナット・ワッシャー付 SD345 D29 L=1380 M27-S150 切断ねじ切り)	20	本			F000000600 00
工場塗装工	1	式			Y1A040108 レベル3
前処理 原板ブラスト、ジンクリッチプライマー	72	m2			Y1A04010801 レベル4
【工場製作に含まれる材料費等】 (但し、工場塗装に係る材料費は除く) 工場管理費[対象外]、一般管理費等[対象]					#0045
原板ブラスト及びジンクリッチプライマー	72	m <sup>2</sup>			T7094 00
前処理 2次素地調整	33	m2			Y1A04010801 レベル4

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
塗装前処理 (原板プラスト・プライマ除く) 二次素地調整 (製品プラスト)	33	m <sup>2</sup>			S3045 00 単第0 -0005 表
防食下地	33	m <sup>2</sup>			Y1G01130301レベル4
工場塗装工 (下塗り) 塗装系: C 5, F 1 1, F 1 2 無機ジンクリッチペイント	33	m <sup>2</sup>			S3052 00 単第0 -0006 表
下塗 エポキシ樹脂塗料	33	m <sup>2</sup>			Y1A04010802レベル4
工場塗装工 (下塗り) ミストコート 塗装系: C 5 ミストコート(エポキシ樹脂塗料下塗り)	33	m <sup>2</sup>			S3053 00 単第0 -0007 表
工場塗装工 (下塗り) 塗装系: C 5 エポキシ樹脂塗料下塗	33	m <sup>2</sup>			S3051 00 単第0 -0008 表
中塗 フッ素樹脂	33	m <sup>2</sup>			Y1A04090102レベル4
工場塗装工 (中塗り) 塗装系: C 5 フッ素樹脂 淡彩	33	m <sup>2</sup>			S3065 00 単第0 -0009 表
上塗 フッ素樹脂	33	m <sup>2</sup>			Y1A04090103レベル4

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
工場塗装工 (上塗り) 塗装系：C 5 フッ素樹脂 淡彩	33	m2			S3065 00  単第0 -0010 表
工場製品輸送工	1	式			Y1E0502 レベル2
輸送工	1	式			Y1E050201 レベル3
輸送	1	式			Y1E05020101 レベル4
鋼橋工場製作輸送費 鋼板 運搬距離 3 1 0 km	2	t			S3070027 00  単第0 -0011 表
道路土工	2	t			Y1E0503 レベル2
作業土工	1	式			Y1A010201 レベル3
床掘り 土砂	1	式			Y1A01020102 レベル4
床掘り 土砂 平均施工幅1m以上2m未満 無し 障害無し	10	m3			SPK23040015 00  単第0 -0012 表
	10	m3			

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
埋戻し 土砂	8	m3			Y1A01020103レベル4
埋戻し 最大埋戻幅1m未満	8	m3			SPK23040020 00 単第0 -0013 表
残土処理工	1	式			Y1E050310 レベル3
土砂等運搬 土砂	2	m3			Y1E05031002レベル4
土砂等運搬 標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む) D1D区間無し 距離4.5km以下(3.5km超)	2	m3			SPK23040002 00 単第0 -0014 表
残土等処分	2	m3			Y1E05031003レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
受入費 土砂	2	m3			F000000100 00
橋脚補強工	1	式			Y1E0505 レベル2

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
橋脚下部補強工					Y1G022306 レベル3
	1	式			
現場溶接 t=6mm					Y1G02230302 レベル4
	15	m			
現場溶接_橋梁補強 補強鋼板部(V型・レ型) 板厚21mm,22mm					SPK23040320 00
	15	m			単第0 -0015 表
アンカー削孔・定着工 削孔深0.8m以上1.0m未満					Y1F01030408 レベル4
	20	箇所			
フーチングアンカー削孔・定着 削孔深0.8m以上1.0m未満					SPK23040321 00
	20	箇所			単第0 -0016 表
アンカー注入材(材料費) エポキシ樹脂系アンカー材					Y1A02060411 レベル4
	11	kg			
アンカー注入材(材料費) エポキシ樹脂系アンカー材					F000000800 00
	11	kg			
根巻きコンクリート 24-12-25BB					Y1H02011001 レベル4
	4	m3			
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 24-12-25(20)BB 人力打設					SPK23040154 00
	4	m3			単第0 -0017 表

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物	13	m2			SPK23040156 00  単第0 -0018 表
鉄筋工 SD345径13mm	0.1	t			S3276 00  単第0 -0019 表
鋼板巻立て工	1	式			Y1E050508 レベル3
鋼板巻立て G支柱 無収縮モルタル	39	m2			Y1G02230301 レベル4
鋼板巻立て G支柱 無収縮モルタル	39	m2			SPK23040317 00  単第0 -0020 表
シール材（材料費） エポキシ樹脂系シール材	79	kg			Y1A04010203 レベル4
シール材（材料費） エポキシ樹脂系	12	kg			F000001000 00
無収縮材（材料費）	67	kg			F000000900 00
注入材（材料費）	2,976	kg			Y1E05050614 レベル4

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
無収縮材（材料費）					F000000900 00
現場溶接	2,976	kg			Y1G02230302レベル4
現場溶接_橋梁補強 補強鋼板部(V型・レ型) 板厚6mm,9mm,10mm	32	m			SPK23040320 00 単第0 -0021 表
現場塗装工					Y1A040901 レベル3
素地調整 動力工具	1	式			Y1G01160101レベル4
新橋・新橋継手部現場塗装_素地調整 素地調整	6	m2			SDT00021 00 単第0 -0022 表
新橋・新橋継手部現場塗装_素地調整 研削材及びケレンかす回収・積込工	6	m2			SDT00021 00 単第0 -0023 表
防食下地 有機ジンクリッチペイント	6	m2			Y1A04010802レベル4
新橋・新橋継手部現場塗装_下塗り 下塗り塗装	6	m2			SDT00023 00 単第0 -0024 表

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
下塗 エポキシ樹脂塗料	6	m2			Y1A04010802レベル4
新橋・新橋継手部現場塗装_下塗り 下塗り塗装	6	m2			SDT00023 00 単第0 -0025 表
中塗 フッ素樹脂	6	m2			Y1A04090102レベル4
新橋継手部現場塗装_中・上塗り 中塗り塗装	6	m2			SDT00027 00 単第0 -0026 表
上塗 フッ素樹脂	6	m2			Y1A04090103レベル4
新橋継手部現場塗装_中・上塗り 上塗り塗装	6	m2			SDT00027 00 単第0 -0027 表
仮設工	1	式			Y1E0512 レベル2
仮設材設置工	1	式			Y1E051204 レベル3
H形鋼 H-300	530	t・日			Y1M04210101レベル4

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
【桁等購入費】 共通仮設費[対象外]，現場管理費[対象] 一般管理費[対象]					#0040
(賃料)H形鋼 H-300, 93kg/m 360日(12か月)以内	530	t・日			K3073 00
山留主材 H-300	318	t・日			Y1L05091304レベル4
【桁等購入費】 共通仮設費[対象外]，現場管理費[対象] 一般管理費[対象]					#0040
(賃料)鋼製山留材 H-300, 100kg/m 180日(6か月)以内	318	t・日			K0100139 00
敷鉄板	8	枚			Y1A01150104レベル4
【桁等購入費】 共通仮設費[対象外]，現場管理費[対象] 一般管理費[対象]					#0040
敷鉄板賃料 25 × 1524 × 3048, 911kg/枚 賃貸期間212日	2	枚			S1050029 00 単第0 -0028 表
敷鉄板賃料 25 × 1524 × 6096, 1823kg/枚 賃貸期間212日	6	枚			S1050029 00 単第0 -0029 表

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
万力					Y1A01150104レベル4
	74	個			
【桁等購入費】 共通仮設費[対象外]，現場管理費[対象] 一般管理費[対象]					#0040
シャコ万力 150mm					F00000200 00
	350	個・月			
補償料 150mm					F00000400 00
	10,600	個・日			
シャコ万力 100mm					F00000300 00
	168	個・月			
補償料 100mm					F00000500 00
	5,088	個・日			
仮囲い H=3.0m					Y1A01151602レベル4
	155	m			
【桁等購入費】 共通仮設費[対象外]，現場管理費[対象] 一般管理費[対象]					#0040
仮囲い賃料					V1032 00
	155	m			

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
交通管理工					Y1E051221 レベル3
	1	式			
交通誘導警備員					Y1E05122101 レベル4
	10	人			
交通誘導警備員B					R0369 00
	10	人			
** 直接工事費 (鋼橋製作工) ** #0020計=支給品等(材料),無償貸付					
間接労務費 (鋼橋製作工) 計算情報..... 対象額..... 率.....					
工場管理費 (鋼橋製作工) 計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 間接工事費 (鋼橋製作工) **					
** 工場製作原価 (鋼橋製作工) **					
** 直接工事費 (工場製作を除く) ** #0020計=支給品等(材料),無償貸付					

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
共通仮設費率分					Z0019
計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 共通仮設費計 **					
** 純工事費 **					
現場管理費 計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 架設工事原価 **					
** 工事原価 **					
一般管理費率分 計算情報..... 対象額..... 率.....					前払補正率...
契約保証費 計算情報..... 対象額..... 率.....					当初請対額 当初対象額

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
一般管理費計					
**工事価格**					
**消費税相当額** 計算情報..... 対象額..... 率.....					
**工事費計**					
**契約保証費計**					







# 施工単価表

鋼材費(鋼板)  
溶接構造用 SM400A

SHD30001  
ガーダー形式 厚み 6 t<12mm

単第0 -0004 表

1 t 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
鋼板 厚板,無規格 12・16・19・20・25mm×定尺	1.170	t			1*1.17
鋼板エキストラ<規格エキストラ> 溶接構造用(SM400A) t 38	1.170	t			1*1.17
鋼板エキストラ<寸法エキストラ> ガーダー形式	1.170	t			1*1.17
鋼板エキストラ<寸法エキストラ> 厚みエキストラ 6 t<12	1.170	t			1*1.17
鉄屑(ヘビーH1) 厚さ6mm以上,幅高500mm以下 長さ1,200mm以下,質量1,000kg以下	-0.136	t			1*-0.136
諸雑費	1	式			
*** 単位当たり ***	1	t			
A=2 厚板(6mm以上) C=3 SM400A E=1 ガーダー形式			B=2 溶接構造用 D=2 t 38mm F=1 厚み 6 t<12mm		















# 施工単価表

床掘り

SPK23040015

単第0 -0012 表

土砂 平均施工幅1m以上2m未満

無し 障害無し

1

m3 当り

機械構成比: 21.49% 労務構成比:

63.32%

材料構成比: 15.19%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

266.56000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>後方超小旋回バックホウ(クローラ型) 山積0.45m3(平積0.35m3) 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	21.49%		バックホウ(クローラ型) [後方超小旋回型] 山積0.45m3(平積0.35m3)		KTPC00066 KTPT00066
運転手(特殊)	63.32%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	15.19%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂 C=1 無し E=1 -(全ての費用)			B=2 平均施工幅1m以上2m未満 D=1 障害無し		

# 施工単価表

埋戻し

SPK23040020

単第0 -0013 表

最大埋戻幅1m未満

1

m3 当り

機械構成比: 6.01% 労務構成比: 90.52%

材料構成比: 3.47%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

2,845.10000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 標準型・排1 山積0.45/平積0.35m3	5.33%		バックホウ(クローラ型) 標準型・排1 山積0.45/平積0.35m3		MTPC00010 MTPT00010
<賃>タンパ(ランマ) 質量60~80kg	0.68%		タンパ及びランマ 質量60~80kg		KTPC00020 KTPT00020
普通作業員	54.90%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	27.09%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	8.53%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	2.50%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	0.97%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
積算単価			積算単価		EP001
A=4 最大埋戻幅1m未満			D=1 -(全ての費用)		



# 施工単価表

土砂等運搬

SPK23040002

単第0 -0014 表

標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む)

DID区間無し 距離4.5km以下(3.5km超)

1

m3 当り

機械構成比: 46.25% 労務構成比:

38.07% 材料構成比: 15.68%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,163.80000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	46.25%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	38.07%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	15.68%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 標準 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) E=14 距離4.5km以下(3.5km超)			B=3 バックホウ山積0.45m3(平積0.35m3) D=1 DID区間無し		

# 施工単価表

現場溶接\_橋梁補強  
補強鋼板部(V型・レ型)

SPK23040320

単第0 -0015 表

機械構成比: 0.00% 労務構成比: 100.00%

板厚21mm, 22mm

材料構成比: 0.00% 市場単価構成比: 0.00%

1 m 当り  
標準単価: 130,030.00000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
溶接工	77.51%		溶接工		RTPC00019 RTPT00019
土木一般世話役	17.73%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=2 補強鋼板部(V型・レ型)			B=5 板厚21mm, 22mm		

# 施工単価表

フーチングアンカー削孔・定着

SPK23040321

単第0 -0016 表

削孔深0.8m以上1.0m未満

1

箇所 当り

機械構成比: 0.00%

労務構成比: 100.00%

材料構成比: 0.00%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

2,004.80000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
特殊作業員	43.60%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	27.80%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	10.57%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 削孔深0.8m以上1.0m未満					

# 施工単価表

コンクリート

SPK23040154

単第0 -0017 表

無筋・鉄筋構造物 24-12-25(20)BB

人力打設

1

m3 当り

機械構成比: 0.00% 労務構成比: 31.93%

材料構成比: 68.07%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

24,215.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	14.27%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	8.38%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	7.11%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度24,スランプ12,粗骨材20(25) W/C(55%),種別(高炉)	68.07%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPC00343 TTPT00343
積算単価			積算単価		E9999
A=1 無筋・鉄筋構造物 C=1 24-12-25(20)BB H=2 現場内小運搬無し K=1 -(全ての費用)			B=3 人力打設 F=2 一般養生 J=1 -		

# 施工単価表

型枠

SPK23040156

単第0 -0018 表

一般型枠

鉄筋・無筋構造物

1

m2 当り

機械構成比: 0.00%

労務構成比: 100.00%

材料構成比: 0.00%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

8,890.10000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
型わく工	46.99%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	25.08%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	9.24%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 一般型枠 C=1 -(全ての費用)			B=1 鉄筋・無筋構造物		

# 施工単価表

鉄筋工  
SD345径13mm

S3276

単第0 -0019 表

1 t 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.600	人			
鉄筋工	3.900	人			
とび工	0.100	人			
普通作業員	2.200	人			
異形棒鋼<JISG3112> SD345,D13 単位質量0.995kg/m	1.050	t			
諸雑費	6	%			#09
*** 単位当たり ***	1	t			
A=3 SD345径13mm					

# 施工単価表

鋼板巻立て

SPK23040317

単第0 -0020 表

G支柱

無収縮モルタル

1

m2 当り

機械構成比: 0.00%

労務構成比: 100.00%

材料構成比: 0.00%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

25,156.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
特殊作業員	38.84%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	18.61%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	10.53%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
とび工	6.65%		とび工		RTPC00004 RTPT00004
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=7 G支柱			B=1 無収縮モルタル		





















# 数量総括表

－市道木原23号線道路改良工事 その2－

## 本工事(付帯工事)費内訳表

工事区分	工 種	種 別	細 別	規 格	単位	数 量	計上数量	摘 要
本工事費								
	工場製作工							
		製作加工(労務費)						
			労務費		式	1.0	1.0	製作工数=63.6
		製作加工(材料費)						
			鋼材費(鋼板)	SS400	t	0.05	0.05	t=22
			鋼材費(鋼板)	SM400B	t	0.5	0.5	t=22
			鋼材費(鋼板)	SM400A	t	1.8	2.0	t=6
		アンカーボルト						
			定着アンカーボルト		本	20.0	20.0	
		ボルト・ナット						
			定着アンカーボルト用ナット		個	20.0	20.0	
		工場塗装工						
			前処理	原板プラスト及びジンクリッチプライマー	m2	72.2	72.0	
			防食下地		m2	32.7	33.0	
			下塗	ミストコート	m2	32.7	33.0	
				エポキシ樹脂塗料下塗	m2	32.7	33.0	
			中塗	フッ素樹脂中塗	m2	32.7	33.0	
			上塗	フッ素樹脂中塗	m2	32.7	33.0	
	工場製品輸送工							
		輸送工						
			輸送費		t	2.0	2.0	L=308km
	道路土工							
		作業土工						
			床掘り	平均施工幅1m以上2m未満	m3	10.3	10.0	
			埋戻し	最大埋戻し幅1m未満	m3	8.0	8.0	
		残土処理工						
			土砂等運搬		m3	2.1	2.0	
	橋脚補強工							
		橋脚下部補強工						
			現場溶接	鋼板補強部(V型、レ型)	m	15.0	15.0	
			アンカー削孔・定着工	削孔深0.8m以上1.0m未満	箇所	20.0	20.0	
			アンカー注入材(材料費)	エポキシ樹系アンカー材	kg	11.0	11.0	
			根巻コンクリート	コンクリート	m3	4.0	4.0	
				型枠	m2	13.0	13.0	
				鉄筋工	t	0.1	0.1	
		鋼板巻立工						
			鋼板巻き立て	G支柱	m2	39.0	39.0	
			シール材	エポキシ樹脂系	kg	12.2	12	
				無収縮材	kg	66.7	67	







## 鋼材重量集計表

	箇所	使用材料			小型材片 (個/橋脚)	重量 (kg/個)	合計		備考
		種別	断面	長さ			小型材片 個	重量 kg	
支柱 下部	P2	PL	120×22	184	40	3.81	40	152	SM400B
		〃	184×22	256	40	8.13	40	325	〃
		〃	120×22	120	20	2.49	20	50	SS400
	計(1橋脚)						100	527	
支柱 上部	P2	PL	1118×6	3210	10	169.0	10	1,690	SM400A
		FB	50×6	3210	10	7.56	10	76	〃
	計(1橋脚)						20	1,766	
合計							120	2,293	

## 材質別集計表

材質	橋脚	使用材料			小型材片 (個/橋脚)	重量 (kg/個)	重量 kg	備考			
		種別	断面	長さ					(a)	(b)	(a*b)
SS400	P2	PL	120×22	120	20	2.49	50	支柱下部			
合計							50				
SM400A	P2	PL	1118×6	3210	10	169.0	1690	支柱上部			
	P2	FB	50×6	3210	10	7.56	76	支柱上部			
小計							1766				
合計							1816				

## 材質別集計表

材質	橋脚	使用材料			小型材片 (個/橋脚)	重量 (kg/個)	重量 kg	備考			
		種別	断面	長さ					(a)	(b)	(a*b)
SM400B	P2	PL	120×22	184	40	3.81	152	支柱下部			
	P2	〃	184×22	256	40	8.13	325	支柱下部			
合計							477				
材質別重量(kg)					SS400		50				
					SM400A		1816				
					SM400B		477				













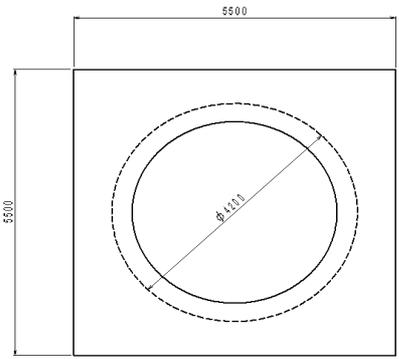
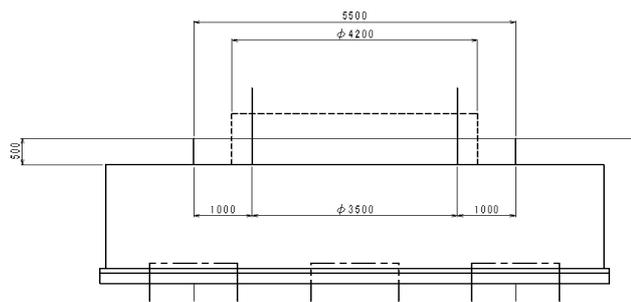
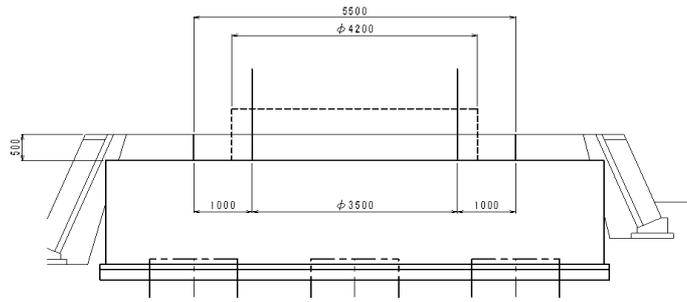








12. 数量計算(土工)支柱下部

コンクリート体積			
部 材	算 式	数量 (m3)	摘要
支柱下部補強工 1橋脚当り			
(P2橋脚)			
土工			
			
			
			
掘削	$V = 5.500 \times 5.500 \times 0.500$ $- 1/4 \times 3.500^2 \times \pi \times 0.500$	10.3	
埋戻し	$V = 5.500 \times 5.500 \times 0.500$ $- 1/4 \times 4.200^2 \times \pi \times 0.500$	8.2	
残土	$V = 10.3 - 8.2$	2.1	

# 参 考 図

－市道木原23号線道路改良工事 その2－



34. 391966, 133. 143557

この図は、地理院地図を利用したものである。

50 m